こんにちは！松前町地域包括支援センターです♪

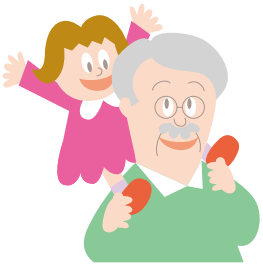
自分の気持ちと向き合い一歩踏み出しましょう

暖かな日差しや、きれいに咲く花から「春」を感じますね。

そんな春は区切の季節でもあります。仕事から退いたり子どもが独立したり…環境の変化にとまどいや寂しさを感じることがあるかもしれません。

このような寂しさは、その気持ちを人に話すことで落ち着いたり楽になったりすることもあります。いろいろな変化の悪い面ばかりをとらえるのか、良い面に目を向けるのか、同じ状態でも自分の考え方次第でこれからの生活が変わってくるかもしれませんね。

また、家族や友人など周囲の人の声かけで、本人が「ほっ」と安心や安らぎを感じることもあります。



春は新しいことに挑戦する好季節です。自分らしくイキイキと過ごしている人は、さらにイキイキと過ごしましょう。「もう年だから」と自分でブレーキを踏みがちな人は、「してみたいこと」や「好きなこと」に目を向けて、「わくわくする」気持ちを大切にしながら、いろいろなことに挑戦してみてはいかがですか？

問　健康課地域包括支援センター係　☎985-4205

ふるさと歴史散歩㊽

義民・窪田兵右衛門（くぼたひょうえもん）の史跡を訪ねるⅡ

（松前史談会レポート）

1 窪田兵右衛門の頌徳碑（砥部町八倉八蔵寺）

坂本日吉神社参道口から東へ少し行くと左手に公民館があるが、八蔵寺の境内であったここに頌徳碑がある。高さ３メートルを超え、周囲を玉垣が取り囲んでいる。そこには、今も二つの井手の恩恵を受けている地元の村々の名が読み取れる。この碑は明治24年（1891―明和水論の年から120年後）に建てられたが、当時の愛媛県知事、勝間田稔の題額による「代衆以死」（衆に代わり、以って死す。）から人々の心情を感じる。すぐ横には彼の辞世の句「如月のあはれたずねよ法の道」を刻んだ自然石の句碑がある。裏手の墓地には、新谷藩は五輪の墓石を建て、石灯篭を寄進して顕彰した。ここは、現在も窪田家の墓所である。

2 赤坂泉（砥部町重光）

伊予川内線、矢取川を越えて拾町の交差点に向かって500メートルほど行くと、“赤坂泉”の看板が出ている。重信川の堤防に沿った細長い泉であるが、水は四季を通じて田畑を潤している。堤には、愛媛県原産の桜、陽光と染井吉野が延々と２列に並んでいる。花の季節は見事であり、多くの花見客でにぎわう。この泉は、明和水論の悲劇をきっかけに計画され、天明元年（1781）に着工、寛政５年（1793）に完成した。大変な難工事であったが、完成後は水争いをすることはなくなった。先人の悲劇や苦労を知ることによって、水を大切にすること、河川を汚してはいけないことを学ぶことができる。

赤坂泉

3 円通寺（砥部町重光）

窪田兵右衛門の墓は、この寺の境内にある。死者までも出す大騒動となった水争いの罪を、一人で引き受けて死罪となった彼の墓は、親しかった円通寺の和尚によって、死後直ちに建てられたのである。

円通寺・窪田兵衛門の位牌（いはい）

３月のふるさと歴史散歩は休みます。

松前史談会総会記念講演『松山城の大手口の発見―なぜ松前から松山へ城を移したか』（柚山俊夫先生　３月13日㈯14時50分～　文化センター２階）は参加自由です。

問　松前史談会（鷲野）　☎984-5439